



平成30年度 上砂川町社会福祉大会 実施レポート

平成30年10月31日

上砂川町社会福祉協議会

はじめに

この度は、平成30年度上砂川町社会福祉大会にご臨席を賜りまして、誠に有難うございました。

今大会は、上砂川町の福祉をより身近に感じて頂く機会になればとの想いで、例年とはまた趣を変えた形での実施となりました。

行政との合同開催や、参加者による事例発表など、初めての事が多く不安も募るなか、皆様の多大な御協力のもとでこうして無事に大会を終える事が出来ました。改めまして皆様に厚く御礼申し上げます。

ささやかではございますが、皆様の福祉活動の一助とならんことを祈念しつつ、本書を送付させていただきます。今後とも上砂川町社会福祉協議会の諸活動へのご理解とご協力を、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

上砂川町社会福祉協議会
会長 吉川 聡

実施概要

日時 : 平成30年10月27日土曜日 9:30 ~ 12:00
場所 : 町民センター 大ホール
参加者数 : 120名 (主催人員等含む)
概要 : 9:30 開会



・主催者挨拶

上砂川町社会福祉協議会 会長 吉川 聰 様

・表彰授与 功労表彰 横溝 一成 様

感謝状 笹木 諄 様

桑原 一治 様

高木 明美 様

柳川 将輝 様

日本生命労働組合

旭川支部 様

・来賓挨拶 上砂川町長 奥山 光一 様

・来賓 上砂川町議会 議長 大内 兆春 様



9:50~12:00

フォーラム 『上砂川町の福祉を考える』 ※詳細後述

フォーラム・スタッフ

テーマ : 上砂川町の福祉を考える

案内人 : 一般社団法人WellbeDesign 理事長 篠原 辰二 氏
上砂川町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 飯酒盃 琢一

パネラー : 福祉課長 山崎 数浩 氏
福祉課保健予防係 小林 京子 保健師
地域包括支援センター 内野 奈穂子 保健師
地域包括支援センター 佐野 比南 介護支援専門員

アンバサダー : 佐藤 政博 氏 (百歳体操)
(活動代表者) 近藤 弘美 氏 (ぷちもえ)
田中 靖子 氏 (カフェまちなか)
元木 セツ子 氏 (よってけ場・生活支援サービス)
双葉保育園 林 千聡 保育士 (いっしょにあそぼ！)
秋川 眞智子 氏 (いっしょにあそぼ！)
上砂川中央小学校 山下 恋珀 さん (認知症サポーター養成講座・認知症カフェ体験)
上砂川中学校 菅原 竜哉 さん (上砂川町クリーン作戦)
上砂川中学校 林 凜 さん (上砂川町クリーン作戦)

福祉とは？

～上砂川町の福祉～



今年の社会福祉大会は、住民フォーラムという形での開催となりました。町では初の試みであり、スタッフや関係者一同、皆緊張しながらスタートしました。

導入では、案内人の篠原先生から「福祉について」の説明がありました。

- ・我々には、我々らしく生きる権利があること
- ・我々は、いきいきと暮らしていくことが保障されていること

など、福祉の考え方について分かりやすい説明がなされました。

社会福祉協議会の飯酒盃（生活支援コーディネーター）の想いについても簡単に触れました。

「一緒に笑顔あふれる日々を過ごしたい」

ご参加頂いた皆様にとって、今大会がそのきっかけとなれば、この上ない幸いです。



1. 百歳体操



行事発表の先鋒を務めたのは、百歳体操です。

下鶉地区で活動されている佐藤さんと、福祉課保健予防係の小林保健師に紹介して頂きました。下鶉地区では独自に皆勤賞の表彰なども行っているそうです。一度はケガで中断しながらも、回復を期に継続されていたりと、実体験に基づくお話しが繰り広げられました。

弓道+百歳体操で心身を維持している佐藤さん。発表内容はもちろん、年齢を感じさせない凛とした姿勢も好評でしたね。

ひとりではつまらなく感じる運動も、皆で集まってやれば不思議と笑顔で出来てしまうものです。

一緒に楽しく、体を動かしませんか？

**各地区生活館・集会所にて
ほぼ週1回開催中！**

百歳体操 に関するお問い合わせは...

☎62-2011 福祉課 保健予防係



2. ぷちもえ



ぷちもえは、上砂川の「萌福祉サービス」との協同で行っている、短時間デイサービスです。サポーターとして活躍されている近藤さんと小林保健師に紹介して頂きました。そして、参加者が安心して参加できるように簡単なお手伝いをしてあげている様子が語られました。

自分も体を動かしながら参加者の役にも立つことが出来る一石二鳥の活動であること、そして参加者と共に昼食を取る時間があること、それが参加者の楽しみのひとつになっているというお話も、とても魅力的でした。

デイサービスの状況を目で見る事が出来るということも、大きな利点です。将来自分が活用する立場になった時に、安心して通う事が出来そうです。

毎週火曜日に開催！

ぷちもえ に関するお問い合わせは...

☎62-3370 地域包括支援センター



3. カフェまちなか（認知症カフェ）



今の上砂川町で、おそらく最も勢いのある福祉活動のひとつが「カフェまちなか」です。サポーターの田中さんと地域包括支援センターの佐野介護福祉専門員に紹介して頂きました。

この活動と通じて関係が疎遠になっていた方との繋がりが復活したお話しや、得意分野を上手く活かしている様子も伺い知ることができ、「すべての方（認知症の方や、そのご家族も含む）が気軽に集えるカフェ」なのだということを、改めて知ることが出来ました。また「楽しく手伝わせてもらっている」という、サポーター活動の核心を突く台詞がとても印象に残っています。

いずれの開催地でも和気あいあいとした雰囲気で開催されています。

皆様も是非ご参加ください！

**ふらっと（本店）：毎月第3月曜日
他、各地区開催を目指して奮闘中！**

カフェまちなか に関するお問い合わせは...

☎62-3370 地域包括支援センター



4. よってけ場・生活支援サービス



昨年の10月から、日常生活の「ちょっとした困りごと」を相談したり、福祉でのまちづくりを考えることを目的として始まったのが「よってけ場」です。サポーターの元木さんに説明して頂きました。

よってけ場では、お茶やお菓子をつまみながら色々なお題について気軽におしゃべりをしています。その会話の中からヒントを得て、新しいイベント（多世代交流イベントなど）が生まれる事も！また、毎回少しずつ「ためになる事」を皆で楽しく学んでいます。

元木さんもお話しされていたように、生活支援は生活に密着していく活動なだけに、デリケートな課題もあります。解決するにはひとつでも多くの知恵が必要です。なので、からだは動かないけど口は動く！という方も大歓迎！

ちょっと「よってけば」いいっしょ！

毎月第3金曜日（変更有）開催中！

よってけ場・生活支援サービス に関するお問い合わせは...

☎62-2882 社会福祉協議会



5. 多世代交流行事① (with 双葉保育園) いっしょにあそぼ！



休憩を挟んで、多世代交流の行事紹介へと移ります。「いっしょにあそぼ！」について、双葉保育園の林保育士とサポーターの秋川さんにご紹介頂きました。保育園の熱い想いを受け、よってけ場（※前述）を通して形になった活動です。内容はとても明快で「園児と一緒に遊ぶ！」ことです。その遊びが園児の心の成長に直接つながっていることが、林保育士のお話からも伺えました。また秋川さんが話されていたように、参加する立場の方々も、子供達との触れ合いの中で沢山の元気をいただいています。

分かりやすく、楽しく、お互いの為にもなる、理想的な福祉活動のひとつとなりつつあります。篠原先生も「すごい」と絶賛されていましたね。皆様もどうぞお気軽にご参加ください！

毎月1回、双葉保育園にて 開催中！

いっしょにあそぼ！ に関するお問い合わせは...

☎62-2882 社会福祉協議会



6. 多世代交流行事② (with 上砂川中央小学校) 認知症サポーター養成講座・認知症カフェ体験



続きましては、上砂川中央小学校と地域包括支援センターの協働イベントです。内野保健師と中央小学校6年・山下さんにご紹介頂きました。

上砂川町では、高齢者の数も少しずつ減ってきています。認知症を高齢者のみの問題とするのではなく、あらゆる世代が認知症に関して理解し、寄り添うことが出来るまちを目指して、様々な取り組みが行われています。中でも中央小学校は福祉教育に熱心で、他にも老人クラブ等と様々な行事を展開しています。

山下さんの発表では、実際に参加して感じた事やオレンジリング、介護の仕事への夢なども語られ、非常に立派で感動しました！

平成31年度も、より良い形で 開催出来るよう企画中！



認知症サポーター養成講座・認知症カフェ体験 に関するお問い合わせは...

☎62-3370 地域包括支援センター



7. 多世代交流行事③ (with 上砂川中学校) 上砂川町クリーン作戦



今大会の行事発表の大トリは、上砂川中学校2年・菅原さん、同じく1年・林さんのお二人に務めていただきました。

上砂川町クリーン作戦は、よってけ場や中学校の全面的な御協力もあり、最近の多世代交流行事の起点とも言える大切な行事となりました。

菅原さんの発表では、不法投棄が上砂川町全体のイメージに与える影響から、世代間コミュニケーションの有難さまで幅広い視点が当てられ、林さんの発表では活動を通して感じた「仲間」や「絆」への想いも語られ、それぞれ中学生ならではの素晴らしい内容でした！

また皆と一緒に、笑顔あふれるイベントを行いたいと、強く思います。



平成31年度も、より良い形で 開催出来るよう企画中！

上砂川町クリーン作戦 に関するお問い合わせは...

☎62-2882 社会福祉協議会



8. パネル・ディスカッション（まとめ）



行事発表を受けた上で、非常に短時間ではありましたが代表者会議（パネル・ディスカッション）を行いました。

会議の中で山崎福祉課長もおっしゃっていましたが、今大会でご紹介できた行事は、全体のほんの一部です。

老人クラブ、自治会、民生委員、さつき会、消費者協会など、挙げれば切りがない程たくさんの組織や個人の方々のご協力によって上砂川町の福祉は成り立っています。

今大会も、スタッフ、サポーター、そしてご参加いただきました皆様の多大なご協力の下で、無事に開催することが出来ました。同じように上砂川町全体の力を合わせて「上砂川ならではの福祉」を醸成する事が出来たら、どんなに素晴らしい事かと思えます。

現在の上砂川町社会福祉協議会は、組織としてとても脆弱で未熟ですが、皆様の「いきいきとした暮らし」のために日々邁進いたします。今後とも、変わらぬご指導ご鞭撻を、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

文責：上砂川町社会福祉協議会

生活支援コーディネーター 飯酒盃 琢一

9. 総評 (Wellbe Design 篠原辰二氏より)



福祉とは、その地域の人々の幸福や豊かさを持続させること。言い換え
ると「**ふ**だんの **く**らしの **し**あわせ」を末永く築くことです。日々の「**ふ**
く**し**」を築くには、行政を中心とした公的機関の取り組みだけではなく、
住民相互のつながりや支え合いが何よりも重要です。

この度の社会福祉大会では、地域で「**ふくし**」を実践する住民の皆様
と事業を担当する役場や社会福祉協議会の職員を含む実践者からの報告に
加え、次代を担う小中学生からの提言にも似た想いが寄せられました。住
民が一堂に会する中で、行政や専門職、そして住民が互いの立場を超えて
地域での実践活動を報告し合うことはとても珍しく、上砂川町の「**ふく**
し」の構築に向けて官民一丸となって取り組みが共有できた、貴重な一日
になったと感じています。

道内最少の面積である上砂川町。住民同士の距離感が近く互いの顔が見
える特性を生かし、一人ひとりが「**ふくし**」を築く当事者として、これ
からも健康づくりやボランティア活動に取り組み、住民同士の関係を更に
密にすることで、いきいきとした暮らしが広がるものと感じています。

これからの上砂川町の皆様の取り組みを陰ながら応援しております。